

## 第2学年 音楽科学習指導案

日 時 平成28年7月4日(月) 5限

場 所 八頭町立八頭中学校 音楽室

### 1 題材名 「曲の構成を理解して、曲想を味わおう」

### 2 学習指導要領の指導事項

#### 第2学年及び第3学年 B鑑賞

- (1) ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。

#### [共通事項]

- (1) ア 音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・形式・構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること。

### 3 題材について

本題材は、学習指導要領の「第2学年及び第3学年 B鑑賞(1)ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。」を指導する題材である。また、[共通事項]ア「音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・形式・構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること。」のうち、「音色」「速度」「強弱」「形式」「構成」の要素を扱う。

ここで扱う楽曲は、ベートーヴェン作曲の「交響曲第5番ハ短調作品67」である。第1楽章はソナタ形式で、冒頭の動機の反復や変化によって楽曲が構成されていることから、曲の形式や構成を学ぶのに適した楽曲であると考えた。また、ベートーヴェンの生涯とも深くかかわっている楽曲で、作曲された背景をふまえた演奏は、指揮者や演奏者の解釈によって違ってくる。その違いを分析することで、音楽をさらに深く感受し、鑑賞を深めていくことができると考え、本題材を設定した。

生徒は、前回の授業で、「翼をください」の歌唱において、どのような表現がふさわしいか、「音色」「強弱」「速度」「テクスチュア」といった音楽を形づくっている要素とかかわらせて考える学習を行っており、学級の半分以上の生徒が概ね考えることができていた。歌唱の授業は積極的に取り組む生徒が多いが、鑑賞は苦手であり、感じたことを整理して文章等でまとめることに不安や抵抗を感じている生徒が多い。本題材を通して、心で感じたことを素直に文章等で表現する力を育て、意見交換を通して他者の感じ方に触れながら、一人一人の音楽性を高めさせたい。また、この学習活動を通して、自分自身の鑑賞の能力に自信がもてるようになってほしい。

指導にあたっては、楽曲の形式や構成による曲想の変化を感じ取りながら、楽曲全体を味わって聴く能力を育てたい。また、異なる指揮者とオーケストラによる演奏を聴き比べ、ベートーヴェンの生涯や作曲された背景をふまえた音楽解釈の違いから生まれる音色や速度、強弱の表現の違いを分析し、自分なりの感じ方を持ち、自分にとっての価値を感じ取らせたい。それらを意見交流することで、他者の感じ方を知り、自分の価値意識を再確認することで、様々な音楽のよさや美しさを味わえる感性を育みたい。

### 4 題材の目標

- 「交響曲第5番ハ短調」の音楽を形づくっている要素(音色、速度、強弱)や構造(オーケストラの響き、ソナタ形式、動機や主題の反復や変化、楽曲の構成など)と曲想とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。 **【音楽への関心・意欲・態度】**
- 「交響曲第5番ハ短調」の音楽を形づくっている要素(音色、速度、強弱)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受する。 **【鑑賞の能力】**

- 「交響曲第5番ハ短調」の音楽を形づくっている要素（音色，速度，強弱）や構造（オーケストラの響き，ソナタ形式，動機や主題の反復や変化，楽曲の構成など）と曲想とのかかわりを理解して，解釈したり価値を考えたりし，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴く。

【鑑賞の能力】

## 5 教材

○交響曲第5番ハ短調作品67《運命》

- ・指揮：ヘルベルト・フォン・カラヤン，演奏：ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
- ・指揮：佐渡裕，演奏：ベルリン・ドイツ交響楽団
- ・指揮：朝比奈隆，演奏：大阪フィルハーモニー交響楽団

## 6 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
①「交響曲第5番ハ短調」の音楽を形づくっている要素（音色，速度，強弱，形式，構成）や構造（オーケストラの響き，ソナタ形式，動機や主題の反復や変化，楽曲の構成など）と曲想とのかかわりに関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	①「交響曲第5番ハ短調」の音楽を形づくっている要素（音色，速度，強弱，形式，構成）を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ②「交響曲第5番ハ短調」の音楽を形づくっている要素（音色，速度，強弱，形式，構成）や構造（オーケストラの響き，ソナタ形式，動機や主題の反復や変化，楽曲の構成など）と曲想とのかかわりを理解して，解釈したり価値を考えたりし，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

## 7 指導と評価の計画（4時間）

時	◆ねらい ○学習内容 ・学習活動	評価の観点		評価
		関	鑑	
1	◆オーケストラの響きや楽曲の構成と曲想とのかかわりに関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組む。	①		<p>・「交響曲第5番ハ短調」の音楽を形づくっている要素（音色，速度，強弱，形式，構成）や構造（オーケストラの響き，ソナタ形式，動機や主題の反復や変化，楽曲の構成など）と曲想とのかかわりに関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>＜ワークシート・発表＞</p>
	<p>○オーケストラの響き，動機や主題の反復や変化，動機や旋律の組み合わせ方，ソナタ形式と曲想とのかかわりに関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p> <p>・第1楽章を聴いて，気づいたことや感じたことをワークシートに記入し，意見交流をして共有する。</p> <p>・動機の変化・発展について理解する。</p> <p>・第1主題と第2主題の曲想の違いを知覚，感受する。</p> <p>・ソナタ形式について理解する。</p>			
2	◆第1楽章の形式や構成を理解し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。			

	<p>○オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、動機や旋律の組み合わせ方、ソナタ形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を受受する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、動機や旋律の組み合わせ方、ソナタ形式を意識しながら楽曲を聴き、それぞれについて気づいたことや感じたことをまとめる。</li> <li>・それぞれがまとめたものをグループに分かれて話し合い、共有する。</li> <li>・ベートーヴェンについて調べる。</li> </ul>		<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「交響曲第5番ハ短調」の音楽を形づくっている要素（形式、構成）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を受受している。</li> </ul> <p style="text-align: right;">＜ワークシート・発表＞</p>
3	<p>◆作曲者について理解を深め、音楽を形づくっている要素（音色、速度、強弱）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を受受する。</p> <p>○ベートーヴェンの生き方や考え方、音楽に対する思いに注目しながら第1楽章を聴き、音楽を形づくっている要素と曲想とのかかわりを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を受受する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベートーヴェンについて調べたことを、グループでまとめる。</li> <li>・ベートーヴェンがどのような思いでこの曲を作曲したのかを考えながら楽曲を聴き、感じたことをまとめる。</li> <li>・まとめたことを踏まえながら、ベートーヴェンの思いを表現するためには、どのような音色、速度、強弱がふさわしいかを考えて、ワークシートに記入する。</li> </ul>		<p>①</p> <p>①「交響曲第5番ハ短調」の音楽を形づくっている要素（音色、速度、強弱）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を受受している。</p> <p style="text-align: right;">＜ワークシート＞</p>
4 本時	<p>◆異なった指揮者とオーケストラによる演奏の聴き比べを通して、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解し、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>○前時まで学習したことを踏まえながら、異なった指揮者とオーケストラによる演奏を聴き比べ、解釈の違いから生まれる音色・強弱・速度の違い、それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時まで学習したことを踏まえながら、3人の指揮者による演奏を聴き比べ、ベートーヴェンの思いを表現するためには、どのような音色、速度、強弱がふさわしいかを改めて考え、レーダーチャートに記入する。</li> <li>・レーダーチャートをもとに、自分のイメージと合う演奏を選び、どういう点でふさわしいと感じたのか意見交流し、共有する。</li> </ul>		<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「交響曲第5番ハ短調」の音楽を形づくっている要素（音色、速度、強弱、形式、構成）や構造（オーケストラの響き、ソナタ形式、動機や主題の反復や変化、楽曲の構成など）と曲想とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">＜ワークシート・発表＞</p>

8 本時の目標

○異なる指揮者とオーケストラによる演奏を聴き比べ、解釈の違いから生まれる音色・強弱・速度の違い、それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 【鑑賞の能力】

9 学習過程（第4時／全4時間）

学習活動	○主な発問・予想される生徒の反応	留意点◆評価【観点】 ＜方法＞※手立て
1 本時目標を確認する。	○本時目標と音楽を形づくっている要素（音色，速度，強弱）を確認し，振り返り用紙に記入しよう。	・前時の学習内容がわかるように，楽曲の構成についてのまとめを掲示しておく。
<p>音色・強弱・速度の違いを聴き比べることで、それぞれの音楽のよさや美しさを味わおう。 ～自分の好きな交響曲第5番を見つけよう～</p>		
2 3人の指揮者による演奏を聴き比べ、ベートーヴェンの思いを表現するためには、どのような音色，速度，強弱がふさわしいかを考え，レーダーチャートと表に記入する。	<p>○前時の学習を振り返り，ベートーヴェンの思いを表現するためには，どのような音色，速度，強弱がふさわしいか，考えたことを確認しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音色・・・暗い（絶望している）</li> <li>・速度・・・遅い（人生の重み）</li> <li>・強弱・・・強い（怒りっぽい）</li> </ul> <p>○3人の指揮者による演奏と自分のイメージしたベートーヴェン像とを照らし合わせて聴き，音色・速度・強弱の3つの観点で，ふさわしいかどうかを判断し，レーダーチャートに記入しよう。また，そう判断したのは音色・速度・強弱がどのように演奏されていたからか，理由を表に記入しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はっきり，やや速い，やや強い</li> <li>・重たい，遅い，やや強い</li> <li>・激しい，速い，強い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時，ベートーヴェンについてまとめたワークシートを確認させる。</li> <li>・第1楽章の提示部とコーダの演奏を聴かせる。</li> <li>・音色・速度・強弱の3つの観点で演奏を聴き比べることを確認する。</li> <li>・レーダーチャートの目盛は，自分のイメージに合うものを5とするように指示する。</li> </ul> <p>※3観点考えることが難しい生徒は，1観点（速度がわかりやすい）に絞って聴くように助言する。</p> <p>◆音楽を形づくっている要素（音色，速度，強弱，形式，構成）や構造（オーケストラの響き，ソナタ形式，動機や主題の反復や変化，楽曲の構成など）と曲想とのかかわりを理解して，解釈したり価値を考えたりし，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。【鑑賞の能力】</p> <p style="text-align: right;">＜ワークシート・発表＞</p>

<p>3 レーダーチャートをもとに、自分のイメージと合う演奏を選び、どういふ点でふさわしいと感じたのか意見交流し、共有する。</p>	<p>○レーダーチャートをもとに、総合的に判断し、自分のイメージと最も合う演奏を選ぼう。</p> <p>○表をもとに、なぜその演奏を選んだのか、理由を述べるができるようにしよう。</p> <p>○班で意見交流しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲を選ぶ際には、レーダーチャートの形にこだわる必要はないことを確認する。</li> <li>・教室の生活班で意見交換を行う。</li> <li>・音楽は、人それぞれの感じ方があり、いろいろな意見を聴く中で、自分になかった聴き方を学び、自分の音楽の聴き方をさらに深めるために意見交換を行っていることを確認する。</li> </ul>
<p>4 本時目標を振り返る。</p>	<p>○本時目標を再度確認し、振り返りを用紙に記入しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ音楽でも、指揮者の解釈の違いで、音色や速度、強弱が変わり、曲の感じも変わってくる。その違いを味わって、自分の好みの演奏を探すことも、音楽の楽しみ方の一つということを伝える。</li> <li>・本時目標に対してのふりかえりになるよう、確認する。</li> </ul>